

明和町立明和西小学校

令和5年 6月20日 第3号

ことばの大切さについて

ごしたいと思う今日この頃です。校内に飾ってある紫陽花を見て「わあ、きれい。」と思わず口にして いる児童、飼育しているメダカや金魚を見て「かわいい。」とつぶやいている児童、そんな場面を目に

さて、今年度は「ことばを大切に」と子どもたちによびかけています。先日の朝会で「ことばのドッジ ボール」と「ことばのキャッチボール」の話をしました。以下に掲載しますので御一読ください。

今日は「言葉のドッジボール」と「言葉のキャッチボール」についてみなさんと考えていきたいと思います。 みなさん、ドッジボールって知ってますか?相手をねらってボールを投げたり、ボールに当たらないように取ったり、 逃げたりするゲームですね。では「言葉のドッジボール」ってどんなものなのでしょうか。

みんなで集合して出発する場面でのAさんとBさんの会話です。

A「おそいよ、はやくしてよ。」

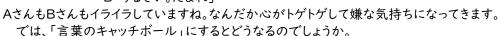
B「べつにいいじゃん」

A「なにやってるの」

B「うるさな、関係ないだろ」

A「おくれたくせに」

B「うるさい。だまれ」



A「Bさんどうしたの?はやくならんで」

B「ごめんごめん。おくれちゃった。」

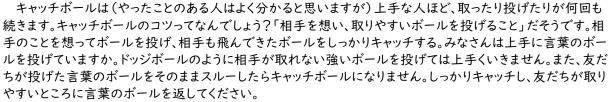
A「みんな出発できないから、今度は早く来てね。」

B「うん。分かった。待っていてくれてありがとう。」

A「いいよ。大丈夫。」

こんな言葉のキャッチボールだったらイライラすることはありませんね。

いちばん簡単な言葉のキャッチボールは挨拶です。「おはよう」と挨拶されたら「おはよう」と返しますね。それ から「○○さん」と名前を呼ばれたら「はい」と返事をすることも言葉のキャッチボールになります。



「相手を想って、取りやすいところに言葉のボールを投げる。」

「ボールがとんできたら、しっかりキャッチしてまた投げる」この繰り返しです。

考えてみたら、サッカーやバスケット、ラグビーのパスや、卓球やテニスでラリーも同じだなと思いました。何が 同じかというと「相手のことを想うこと」です。みなさんも、いつも、相手のことを想うことを忘れないでください。そ して言葉を大切にして毎日を過ごしてください。

朝会の話を受けて、それを子どもたちが自分事として捉え、考えて感想を 書いてくれました。一人一人が、言葉について真剣に考えてくれていることが 本当に嬉しかったです。

ありがとう。



梅雨に入り、心も身体もすっきりしないことがあるかもしれません。でも気持ちだけはさわやかに過 する度に心にさわやかな風が吹くような気がします。





